

令和6年度
第1学年用

「指導と評価の年間計画」(シラバス)



岐阜県立大垣北高等学校

〒503-0017 岐阜県大垣市中川町4丁目110番地の1

電話 <0584> 81-2244 (代表)

FAX <0584> 74-8165

<https://school.gifu-net.ed.jp/ogkkita-hs/>

目 次

教科	科 目
	評価の観点の趣旨 1
国 語	現代の国語 4
	言語文化 5
公 民	公共 6
数 学	数学Ⅰ 7
	数学Ⅱ 8
	数学A 9
理 科	物理基礎 10
	生物基礎 11
保健体育	体育 12
	保健 13
芸 術	音楽Ⅰ 14
	美術Ⅰ 15
	書道Ⅰ 16
外 国 語 (英 語)	英語コミュニケーションⅠ . . 17
	論理・表現Ⅰ 18
家 庭	家庭基礎 19
総合的な探究の時間	SD探究1 20

		評価の観点の趣旨		
		知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
国語	現代の国語	言葉は、認識や思考を支える働きがあることを理解しようとし、豊かな言語感覚を養うと同時に確かな言語力を磨くことができる。	目的や意識、場を理解し、言語を用いる中で、考える力、感じる力、想像する力、表す力などを養うとともに、言語情報からより高度な論理的な思考を行うことができる。	言語を用いて生活を営んでいることを通して、我が国の文化、風習などが発展しているということに気が付き、社会の担い手としての言語力を育もうとしている。
	言語文化	伝統や文化に根ざした言語文化に魅力を感じ、現代のことばとのつながりを認識し、ことばによる豊かな世界観を育むことができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することを通じて、長年培われてきた言語文化について理解するとともに、伝統や文化について、豊かな認識を育むことができる。	言語文化の特徴を捉え、語彙を増やし、ことばを通して文化的背景について理解を深め、豊かな認識を養おうとしている。
公民	公共	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
数学	数学Ⅰ	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析において、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	数学Ⅱ	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えに着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。
	数学A	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基いて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

理科	物理基礎	日常に起きる物体の運動や様々な物理現象を観察、実験などを通して探究し、基本的な概念や原理・法則を正しく理解でき、物理現象とエネルギーについての基礎的な見方や考え方を身に付けている。	運動やエネルギーの概念を正しく理解し、物理的な考え方を身に付けた上で、物理現象の原因をより深く思考できる。実験結果を科学的に考察し、仮説を検証しながら科学的に表現する力を身に付けている。	身の回りの物理現象に興味関心を持ち、課題や実験に対して、周囲と協力しながら主体的に取り組み、科学的な態度で問題を意欲的に解決しようとしている。
	生物基礎	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けている。	生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を正しく理解し、生物学的な考え方を身に付けた上で、生物現象の原因をより深く思考し、正しく説明することができる。	身の回りの生物や生物現象に興味関心を持ち、課題や実験に対して、主体的に取り組み、科学的な態度で問題を意欲的に解決しようとしている。
保健体育	体育	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性についての知識と技能を身に付けている。	運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、仲間とコミュニケーションを取りながら運動を実践できる。	継続して運動に親しむために、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、安全に留意するなど主体的に取り組もうとしている。
	保健	多様な健康の考え方、感染症、生活習慣病、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患などの健康課題とそれらの対策を理解している。また事故や熱中症などのおこる要因を理解し、予防する知識と実践力を身に付けている。	現代社会と健康について課題を発見し、健康的な生涯を過ごすために、解決の方法を考え実践できる能力を身に付ける。交通事故や熱中症などの回避方法を考え、それらを伝えることができる。	現代生活と健康についての学習に主体的に取り組む、安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。
芸術	音楽Ⅰ	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関り及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形づくっている要素や要素同士の間を感覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもち、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	美術Ⅰ	対象や事象を捉える造形的な視点や表現技法について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 美術や美術文化のよさや美しさを理解している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
	書道Ⅰ	書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技術を身に付け、表すことができる。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫し、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

外国語	英語 コミュニケーション I	新出語や Key Phrases の言語材料、本文の論理展開を理解している。 各 Part 本文の内容について、事実や自分の考えを整理し、新出語や Key Phrases の言語材料を用いて、本文の内容を再生したり、自分の意見を話したり書いたりする技能を身に付けている。	本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつながり表現を用いて話したり書いたりしている。 本文に関連したテーマについて、学習した機能表現を用いて、自分の意見を話したり書いたりしている。 聞き取った内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて書いたりしている。	本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつながり表現を用いて話したり書いたりしようとしている。 本文に関連したテーマについて、学習した機能表現を用いて、50 語以上で自分の意見を話したり書いたりしようとしている。 聞き取った内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。
	論理・ 表現 I	英語の特徴やきまりに関する事項、話の展開のしかたや論理構成について理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝える、また、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して伝えようとしている。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝えようとしている。
家庭	家庭 基礎	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

(学習評価について)

上記に記載した各教科・科目ごとに示された三つの観点(「知識・技能(技術) a」・「思考・判断・表現 b」・「主体的に学習に取り組む態度 c」)に基づき、学習内容のまとめ(定期考査までの学習のひとまとめ)ごとに評価を行い、それらを総括して前期末は10段階評価、学年末は10段階評価及び5段階評定による評価を行います。

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	国語	科目名	現代の国語	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	現代の国語(第一学習社)			補助教材等	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 核心漢字2500+語彙1000(尚文出版)		
指導目標	実社会に生かせる国語の知識・技能を習得し、論理的に考え、表現し、学び合うことで、自分の思いや考えを深化拡充できる。その中で、我が国の言語文化の担い手として自覚を持ち、より豊かな言語生活を営める礎を築く。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法
4	6話	主張と論拠 評論「『本当の自分』幻想」	・筆者の主張とそれを支える論拠の関係について理解する。 【a】 ・筆者の主張に対する自分の考えを、論拠を明確にして話し合う。【b・c】	行動観察 ノート点検
5	8書	対比構造 評論「水の東西」	・本文中の対比構造とその効果を理解する。【a】 ・日本や他国の文化について、対比構造を用いて文章にまとめる。【b・c】	行動観察 ワークシート等
	1読	◆前期中間考査		
6 7	9読	具体と抽象 評論「ものごとば」	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解するとともに、本文中の具体的な情報を抽象化し、筆者の主張を捉える。【a】 ・筆者の主張の論拠となる具体例を調べ、資料を用いて報告する。【b・c】	行動観察 小テスト ワークシート等
8 9	8読	事実と意見 評論「『私づくり』とプライバシー」	・個別の事実と筆者の意見の関係性について理解する。【a】 ・筆者の意見を叙述を基に的確に捉え、要点を把握する。【b・c】	行動観察 ワークシート等
	1読	◆前期期末考査		
10	9書	論の構造 評論「文化としての科学」	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。【a】 ・文化と科学の関係性について理解し、本文や資料を引用しながら、自分の意見を論述する。【b・c】	行動観察 小テスト ワークシート等
11	7書	実用的文章 日本の労働問題に関わる資料を読み比べる	・様々な資料の特色をふまえ、複数の情報を関連付けて理解する。【a】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を工夫して書く。【b・c】	行動観察 ワークシート等
	1読	◆後期中間考査		
12	8話	一般論と主張 評論「フェアな競争」	・他者の主張と筆者の主張を見分け、情報と情報の関係について理解する。【a】 ・筆者の主張を補強する情報を資料にまとめ、発表する【b・c】	行動観察 ワークシート等
1	6話	実用的文章 図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	・正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解する。【a】 ・身近なテーマから複数の資料を基にポスターを作成し、相手の理解が得られるように表現を工夫して発表する。【b・c】	行動観察 小テスト ワークシート等
2	8書	具体の意図とその効果 評論「ロビンソンの人間」	・具体例と筆者の主張を見分け、具体例を用いることの効果を理解する。【a】 ・具体例を用いて、筆者の意見に対する自分なりの考えを文章にまとめる。【b・c】	行動観察 ワークシート等
3	1読	◆学年末考査		

話：話すこと・聞くこと 20～30単位時間程度 → 話すこと・聞くこと 20単位時間
 書：書くこと 30～40単位時間程度 → 書くこと 32単位時間
 読：読むこと 10～20単位時間程度 → 読むこと 17単位時間

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	国語	科目名	言語文化	学年	1年	単位数(合計)	3(105)
使用教科書	高等学校 言語文化(第一学習社)			補助教材等	トータルサポート新国語便覧(大修館書店) 体系古典文法(数研出版)・漢文必携(桐原書店) 核心古文単語351(尚文出版)		
指導目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる能力を養う。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法
4	7 読	ガイダンス 説話「児のそら寝」	・辞書やノートの使い方、予習復習の仕方を理解する。【a】 ・歴史的仮名遣いを理解する。【b】 ・古文・漢文を抵抗なく読み書きする力を身に付ける。【c】	行動観察 ノート点検
5	4 読	説話「絵仏師良秀」	・用言について理解する。【a】 ・描かれている世界を読み取る。【b・c】	小テスト 行動観察
	5 読	物語「なよたけのかぐや姫」	・係り結びを理解し、助動詞・助詞の概略を知る。【a・b】 ・逐語訳による本文の正確な理解を目指す。【c】	行動観察 ワークシート等
6	1 読	◆前期中間考査		
	6 読	近現代の韻文(詩・短歌・俳句)	・韻文の修辞技法を理解する。【a】 ・表現に基づいた自分なりの解釈を構築する。【b・c】	行動観察 ワークシート等
	7 10 読	漢文入門 故事「漁夫の利」	・置き字・再読文字・返読文字のきまりを理解する。【a】 ・漢文を書き下し文にし、口語訳する。【a・b】 ・漢文を学ぶ意義を知り、訓読のきまりを理解する。【c】	小テスト 行動観察 ワークシート等
8	8 読	随筆「徒然草」	・助動詞を体系化して理解する。【a】 ・用言や助動詞を意識して口語訳し、随筆を読み味わう。【b・c】	小テスト 行動観察 ワークシート等
	9 11 書	随筆「徒然草」	・作者の主張部分を指摘することができる。【a・b】 ・作者の主張を踏まえつつ、随筆のテーマに関して自分の考えを文章にまとめる。【c】	小テスト 行動観察 ワークシート等
	1 読	◆前期期末考査		
10	12 読	小説「羅生門」	・登場人物の心情とその変化に留意して読解する。【a・b】 ・小説の表現技法に着目し、読み味わう。【c】	行動観察 ワークシート等
11	8 読	史伝「先従隗始」	・句法や漢文特有の表現に留意しつつ読解する。【a・b】 ・古代中国の思想や日本への影響を知り、漢文への興味をもつ。【c】	行動観察 ワークシート等
	1 読	◆後期中間考査		
12	10 読	歌物語「伊勢物語」	・助詞の用法を理解する。【a】 ・和歌の修辞法を学び、歌物語を読解する。【a】 ・心情語を理解し、登場人物の心情を読み取る。【b・c】	行動観察 ワークシート等
1	5 読	唐詩「春暁」他	・漢詩の形式や、表現技法を理解し、読解する。【a・b】 ・作者の心情、詩の内容や背景を理解しようとする。【c】	行動観察 ワークシート等
	2 9 読	軍記物語「平家物語」	・敬語表現を理解し、読解に生かす。【a】 ・段落毎に話の展開をまとめる力を身に付ける。【b・c】	行動観察 ワークシート等
3	12 読	小説「城の崎にて」	・心情変化と情景描写の関わりを的確に読み取る。【a・b】 ・巧みな表現を詠み味わい、鑑賞する。【c】	行動観察 ワークシート等
	1 読	◆学年末考査		

書：書くこと	7～15 単位時間程度	→ 書くこと	11 単位時間
読：読むこと	古典	60～68 単位時間程度	→ 読むこと 古典
読：読むこと	近代以降の文章	30 単位程度	→ 読むこと 近代以降の文章

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	公民	科目名	現代社会	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	新版 公共(数研出版)		補助教材等	最新公共資料集(第一学習社) 三訂版ステージ演習ノート 公共(数研出版)			
指導目標	現代社会が抱えている諸問題に着目すると同時に、それらが自己とどのような関わりを持つのか理解させる。 現代社会の様相についてさまざまな角度から探求し、民主社会における主体的な形成者としての能力や態度を養う。						
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点			評価方法	
4	6	公共の授業について ◎現代の政治と法 第3章 公共的な空間における基本原理 第1節 民主社会の基本原理 1 民主政治、基本的人権の保障 2 権力分立と法の支配 3 個人と社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 公共が何を学ぶ授業であるか理解を深めることができる。【a・c】 民主政治確立の過程とその基本原理や仕組みについて理解できる。【a】 個人の尊重を基礎として、法の支配と法の意義・役割について理解することができる。【a】 			考察・発表内容の評価 授業用ノート・プリント、問題集の確認 行動観察	
5	7	第2節 日本社会の基本原理 1 日本国憲法と基本原理 2 基本的人権の保障	<ul style="list-style-type: none"> 民主主義の政治体制にどのようなものがあるか、また、その特色について理解することができる。【a】 日本国憲法の制定過程と基本的人権の保障について、現実の問題に即して理解することができる。【a】 			考察・発表内容の評価 授業用ノート・プリント、問題集の確認 行動観察	
6	8	前期中間考査 3 新しい人権・人権の国際的広がり 第6章 国際社会の動向と日本の役割 第1節 国際政治の動向 1 国際社会と国際法 2 国際連合の成立と組織、役割、課題	<ul style="list-style-type: none"> 平和主義の意義と特色・現状について理解することができる。また、平和主義を実現するため、どのような国際貢献が可能か考えることができる。【b】 今日、主権国家を中心とする国際社会が、変容していることを理解することができる。【b】 国際連合の現状と抱えている課題について理解することができる。【a】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価	
7	5	3 戦後の国際情勢 第2節 国際政治の課題と日本の役割 1 日本の安全保障と日米安保体制 2 軍縮への動き 3 現代の紛争 4 世界の人権問題と日本	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦構造の変遷を軸として、戦後国際政治の流れを正しく理解することができる。【a】 人種・民族問題、地域紛争、核兵器の廃絶と軍縮問題について理解し、国際社会における日本の果たすべき役割について考えることができる。【b・c】 日本の領土とそれをめぐる問題について地図や年表を活用し、資料を適切に読み取りながら理解することができる。【a】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 行動観察	
8	2	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第1節 日本の政治機構 1 国会・内閣・裁判所のしくみと役割 2 地方自治の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 国会・内閣・裁判所のしくみについて理解し、それが抱える問題点について考えることができる。【b・c】 			夏季休業課題	
9	6	第2節 政治参加と民主政治の課題 1 政党の役割 2 選挙と選挙制度 3 世論の形成と現代民主政治の課題 前期期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 「私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために」を用いて、民主政治実現のための具体的制度である選挙について理解し、主権者である国民としてどう行動すべきか考えることができる。【b・c】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
10	8	◎現代の経済 第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 第1節 経済のしくみと市場機構 1 経済生活のしくみ 2 企業の動きと役割 3 市場経済のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 現代の経済社会において、自由な経済活動を基本とする市場経済の意義と権能について理解することができる。【a】 経済活動における私法の意義について理解することができる。【a】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
11	7	第2節 財政と金融 1 国民所得と経済成長 2 財政の役割 3 金融の役割 4 日本銀行と金融政策 後期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 価格機構の働きと現代経済で生産の主体として重要な役割を持つ企業の活動について理解できる。【b・c】 国民所得とは何か、また、景気がどのように変動するのか理解できる。【a】 財政や金融のしくみや、現在抱える問題点について理解できる。【a】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
12	6	第3節 日本経済の進歩と変化 1 日本経済のあゆみ 2 産業構造の変化と職業 3 中小企業と農業 第4節 豊かな生活と福祉の実現 ・消費者問題、労働問題、社会保障 第6章 第3節 国際経済の動向と国際協力 1 国際経済の動向 2 国際経済の課題と国際協力 3 地域経済統合	<ul style="list-style-type: none"> 戦後日本経済の歩みを理解できる。【a】 豊かな生活と福祉実現のための課題と現状について理解できる。【a】 経済のグローバル化・ボーダレス化の進展がもたらす影響について理解することができる。【b・c】 国際収支表などを見ることにより国際経済の基本的なしくみについて理解することができる。【a】 第二次世界大戦後の国際経済がどのような基本原則に基づき、運営されてきたのか理解することができる。【a】 現在の国際経済における課題とは何かを理解し、その解決のためにできる国際協力にはどのようなことがあるか考えることができる。【b】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
1	6	◎現代の社会生活と人間 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 生命をめぐる問題 情報をめぐる問題 環境をめぐる問題 資源・エネルギー問題	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会の特質を様々な面から捉え、その課題はどこにあるのか考え、さまざまな資料を用いてまとめることができる。【b・c】 			冬季休業課題の確認 授業用ノート・プリント、問題集の確認 行動観察 考察・発表内容の評価	
2 3	9	第1章 公共的な空間をつくる私たち 1 青年としてのあり方・生き方 2 先人の生き方・考え方 3 日本人としての自覚 ◎共に生きる社会を目指して 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> 青年期の特色について理解し、課題は何か考えることができる。【b】 先人の思想を参考にして、自己の在り方などについて考えることができる。【b】 			授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価 行動観察	

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学 I	学年	1 年	単位数 (合計)	2 (70)
使用教科書	数学 I (数研出版)			補助教材等	「4STEP 数学 I + A」(数研出版) 「Focus Gold Smart 数学 I + A」(啓林館)		
指導目標	数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、数学的処理する技能の習熟を図る。 事象を論理的・統一的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を培う。 数学のよさを認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。						
月	時間	主な学習内容 (項目)	主な学習活動 (指導内容) と到達目標・評価の観点				評価方法等
4 5	16	オリエンテーション 第1章 数と式 ○式の計算 1. 多項式 2. 多項式の加法と減法および乗法 3. 因数分解 ○実数 4. 実数 5. 根号を含む式の計算 ○1次不等式 6. 1次不等式 7. 1次不等式の利用	・高校での数学の学習の仕方を理解する。【c】 ・数や式の計算の基本法則を理解する。【a】 ・式の加法・減法と乗法の根拠を理解し、公式を利用して、効率よく多項式の計算を行う能力を習得する。【b】 ・因数分解の公式を理解し、利用することができる。【b】 ・実数の概念をまとめ、実数と数直線上の点との対応を理解する。【b】 ・根号を含む式の計算を行うことができる。【a】 ・不等式の性質を理解し、1次不等式を解くことができる。【a】 ・絶対値の基本的な性質を理解する。【a】				行動観察 ノート確認 休日課題
5 6	7	第2章 集合と命題 2. 命題と条件 3. 命題と証明 前期中間考査	・命題と条件の違いや、命題と集合との関係について理解できる。【a】 ・命題の逆・裏・対偶の定義と意味を理解して、それらの真偽を調べることができる。【b】				行動観察 ノート確認 休日課題 前期中間考査
6 7	22	第3章 2次関数 ○2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の最大と最小 4. 2次関数の決定 ○2次方程式と2次不等式 5. 2次方程式 6. グラフと2次方程式 7. グラフと2次不等式	・日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする。【c】 ・2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。【b】 ・2次関数の特徴をグラフによって明らかにし、それらの特徴を利用して、関数の最大・最小を求めることができる。【b】 ・2次方程式の解の公式を理解し、それを用いて解を求める力を身に付ける。【a】 ・2次方程式の解の個数を調べることができる。【a】 ・2次方程式、2次不等式の解を、2次関数のグラフとx軸との位置関係によって捉えることができる。【b】				行動観察 ノート確認 休日課題
8 9 10	16	第4章 図形と計量 ○三角比 1. 三角比 2. 三角比の相互関係 3. 三角比の拡張 ○三角形への応用 4. 正弦定理 5. 余弦定理 前期期末考査 6. 正弦定理と余弦定理の応用 7. 三角形の面積 8. 空間図形への応用	・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。【c】 ・三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察できる。【b】 ・これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。【c】 ・正弦定理・余弦定理を導き、これを用いて、三角形の辺と角の値を求めることができる。【b】 ・余弦定理や正弦定理を用いて、三角形の残りの辺の長さや角の大きさを求めることができる。【a】 ・三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。【a】 ・三角比を利用して、立体の断面積や体積を求めることができる。【b】				行動観察 ノート確認 休日課題 前期期末考査
10 11	7	第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばりと四分位範囲 4. 分散と標準偏差 5. 2つの変量間の関係 6. 仮説検定の考え方 ○課題学習 後期中間考査	・度数分布表、ヒストグラムについて理解している。【a】 ・各代表値の定義や意味を理解し求めることができる。【a】 ・データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。【b】 ・分散と標準偏差の意味を理解し、計算できる。また、分布の違いを標準偏差によって表現できる。【b】 ・データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確に捉えて説明することができる。【b】 ・仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。【c】 ・日常の諸問題に対して、数学的な考え方をを用いて考察しようとする。【c】				行動観察 ノート確認 休日課題 後期中間考査
下記の内容に関しては、数学A担当者が扱う。							
4	2	第2章 集合と命題 ○集合と命題 1. 集合	・集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。【a】				

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	数学Ⅱ(数研出版)			補助教材等	「4STEP 数学Ⅱ」(数研出版) 「Focus Gold Smart 数学Ⅱ」(啓林館)		
指導目標	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、数学的処理する技能の習熟を図る。 事象を論理的・統一的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を培う。 数学のよさを認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。						

下記の内容に関しては、数学Ⅰ担当者が扱う。

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法等
12 1	14	第1章 式と証明 ○式と計算 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式とその計算 5. 恒等式 実力考查 ○等式と不等式の証明 6. 等式の証明 7. 不等式の証明	<ul style="list-style-type: none"> ・3次式の展開および因数分解の公式を利用できる。【a】 ・二項定理の導き方を理解し、二項定理を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。【b】 ・割り算の等式を理解し、利用することができる。【a】 ・分数式の計算の結果を、既約分数式または多項式として表現することができる。【b】 ・恒等式の定義とその性質を明らかにし、式変形の基礎を明確に理解する。【b】 ・不等式、等式の証明の方法を学び、証明することができるようにする。【a・c】 	行動観察 ノート確認 休日課題
1 2 3	21	第4章 三角関数 ○三角関数 1. 一般角と弧度法 2. 三角関数 3. 三角関数の性質 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数の応用 ○加法定理 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成 学年末考查	<ul style="list-style-type: none"> ・弧度法の定義を理解し、度数法と弧度法の換算ができる。【a】 ・三角関数の定義を三角比を一般化して考察することができる。【b】 ・三角関数の相互関係などの性質を調べることができる。【b】 ・三角関数の性質を、グラフの特徴とともに考察することができる。【b】 ・簡単な三角方程式、不等式を解くことができる。【a】 ・和と積の公式に関心を示し、その公式を用いて三角関数の値を求めたり、三角方程式の解を求めたりしようとする。【c】 ・$a\sin\theta + b\cos\theta$ の変形にあたり、同じ周期をもつ2つの関数の合成であることを理解している。【b】 	行動観察 ノート確認 休日課題 学年末考查

下記の内容に関しては、数学A担当者が扱う。

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と評価規準	評価方法等
12 1	12	第2章 複素数と方程式 1. 複素数 2. 2次方程式の解と判別式 3. 解と係数の関係 4. 剰余の定理と因数定理 5. 高次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・有理数から実数へ数の範囲を拡張する必要性を理解し、複素数を考察することができる。【b】 ・2次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。【b】 ・解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。【a】 ・剰余の定理、因数定理を利用し、因数分解をすることができる。【a】 ・高次方程式の解き方を理解し、解くことができる。【b】 	行動観察 ノート確認 休日課題
1 2 3	23	実力考查 第3章 図形と方程式 ○点と直線 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 ○円 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 ○軌跡と領域 8. 軌跡と方程式 9. 不等式の表す領域 学年末考查	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。【a】 ・数直線上の点に関する公式を利用して、平面上の問題を考察しようとする。【c】 ・与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。【a】 ・2直線の平行・垂直の関係を、直線の傾きに注目して考察できる。【c】 ・円がx、yの2次方程式で表されることを理解する。【a】 ・円と直線の関係を、連立方程式を用いて調べる方法を理解する。【b】 ・2つの円の位置関係を、2円の中心間の距離と半径の関係で考察することができる。【b】 ・点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。【b】 ・変数x、yについての不等式から満たす点(x、y)全体の集合がどのような図形であるかを考察することができる。【c】 	行動観察 ノート確認 休日課題 学年末考查

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学A	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	数学A(数研出版)			補助教材等	「4STEP 数学I+A」(数研出版) 「Focus Gold Smart 数学I+A」(啓林館)		
指導目標	図形の性質、場合の数と確率、数学と人間の活動の関係について理解させ、数学的処理する技能の習熟を図る。 事象を論理的・統合的・発展的に考察する力、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を培う。 数学のよさを認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を評価・改善する態度や創造性の基礎を養う。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法等
4 5 6	(2) 26	※数学I 第2章 集合と命題 1.集合 第1章 場合の数と確率 ○場合の数 1.集合の要素の個数 2.場合の数 3.順列 4.円順列・重複順列 5.組合せ ○確率 6.事象と確率 7.確率の基本性質 8.独立な試行の確率 前期中間考査 9.反復試行の確率 10.条件付き確率 11.期待値	<ul style="list-style-type: none"> 集合を考慮することで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数える。【b・c】 事象に応じて、和の法則、積の法則を使い分けて場合の数を求めることができる。【b】 順列や組合せの用語・記号・公式を理解し利用できる。【a】 円順列・重複順列の考え方が適用できるかを見極めて、それらの公式を使うことができる。【b】 組合せの考えを利用して式に表すことができる。【a】 不確定な事象を、同様に確からしいという概念を基に、数量的に捉えることができる。【b】 確率の基本性質を理解し、和事象、余事象の確率を求めることができる。【a】 独立な試行の定義を理解し、その確率を求められる。【a】 反復試行の意味を理解し、その確率を求めることができる。【b】 条件付き確率の考えを利用して事象の確率が考えられることに興味をもち、それについて考察しようとする。【c】 日常の事象において期待値を用いて、考察しようとする。【c】 	行動観察 ノート確認 休日課題 前期中間考査
7 8 9	22	第2章 図形の性質 ○平面図形 1.三角形の辺の比 2.三角形の外心・内心・重心 3.チェバの定理、メネラウスの定理 4.円に内接する四角形 実力考査 5.円と直線 6.方べきの定理 7.2つの円の位置関係 8.作図 ○空間図形 9.直線と平面 10.多面体 前期期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 線分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解する。【a】 三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味を示し、積極的に考察する。【c】 チェバの定理・メネラウスの定理に関心をもち、積極的に考察する。【c】 円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めたり、円と四角形の様々な問題を証明したりすることができる。【b】 円と接線の性質を利用して、線分の長さを求めたり、図形の問題を証明したりすることができる。【a】 方べきの定理を利用して、線分の長さを求めたり、図形の性質を証明したりすることができる。【a】 2つの円の位置関係を中心間の距離と半径に着目して考察することができる。【b】 平行線と線分の比の性質を利用してさまざまな長さをもつ線分の作図の方法を考察することができる。【b】 空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。【a】 正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面・頂点・辺の数を求めることができる。【a】 前期の学習状況について自己評価する。【c】 	行動観察 ノート確認 休日課題 前期期末考査
10 11	20	第3章 数学と人間の活動 1.約数と倍数 2.素数と素因数分解 3.最大公約数と最小公倍数 4.整数の割り算 5.ユークリッドの互除法 6.1次不定方程式 7.記数法 8.座標の考え方 9.ゲーム・パズルの中の数学 ○課題学習 後期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> 約数・倍数の意味とさまざまな数の倍数の判定法を理解しており、それらを用いて与えられた数について調べることができる。【a】 自然数の正の約数と素因数分解の関係を理解できる。【a】 最大公約数、最小公倍数を利用して考察できる。【b】 割り算の余りの性質について考察を深めることができる。【b】 互除法の原理の証明に興味・関心をもつ。【c】 1次不定方程式、整数解の意味を理解できる。【a】 位取り記数法、2進法・n進法について理解できる。【a】 座標平面上で代数的に解決する解法のよさを考える。【b】 ゲームで勝つ方法やパズルの仕組みなどを、論理的に考察しようとする。【c】 日常の諸問題に対して、数学的な考え方をを用いて考察しようとする。【c】 	行動観察 ノート確認 休日課題 後期中間考査

時間の()は、数学A担当者が数学Iを扱う時間数(外数)

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	物理基礎	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	改訂版 物理基礎(教研出版)		補助教材等		センサー物理基礎(啓林館)		
指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、運動と様々なエネルギーを科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法
4 5	12	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1. 速度 2. 加速度 3. 落体の運動 章末問題 前期中間考査	○主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学ぶ。 ・物体の運動に興味をもち、物体の直線運動などを調べようとする。【c】 ・等速直線運動や等加速度直線運動について理解できる。【a】 ・等速直線運動や等加速度運動について意欲的に探究できる。【c】 ・ $x-t$ 、 $v-t$ 、 $a-t$ グラフから物体の運動を考えることができる。【b】 ・物体が落下する際の運動を理解することができる。【c】 ・落下運動を定量的に扱うことができる。【b】 ・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。【c】	行動観察 小テスト確認 ノート確認
6 7 8 9	20	第2章 運動の法則 1. 力とのはたらき 2. 力のつりあい 3. 運動の法則 章末問題 前期期末考査 5. 液体や気体から受ける力	○いろいろな力の性質を学ぶとともに、力がはたらいた場合の物体の運動の変化の様子を調べる。 ・物体の運動に興味をもち、力の性質や力がはたらいたときの物体の運動を調べようとする。【c】 ・平面内の力のつり合いや、合力・分力を考えることができる。【b】 ・重力と垂直抗力など、作用・反作用の関係を物体にはたらく力として捉え、考えることができる。【b】 ・物体にはたらく力のつりあいを理解することができる。【b】 ・物体の質量や物体にはたらく力を変えて物体の運動を調べ、運動の様子をグラフに表すことができる。【a】 ・運動の三法則を理解することができる。【a】 ・前期の学習状況を自己評価する。 ・物体にはたらく力と運動の関係を理解することができる。【b】	行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート 行動観察
10 11 12	13	第3章 仕事とエネルギー 1. 仕事 2. 運動エネルギー 3. 位置エネルギー 後期中間考査 4. 力学的エネルギーの保存 章末問題 探究活動	○仕事、力学的エネルギーについて学び、力学的エネルギーが一定に保たれることについて学ぶ。 ・エネルギーを測るものさしとして、仕事について理解できる。【a】 ・仕事をする能力として、運動エネルギーと位置エネルギーについて理解することができる。【a】 ・後期中間考査までの授業および自分の学習状況について自己評価する。 ・力学的エネルギー保存の法則を調べる観察と実験を行い、保存力と仕事の関係を分析し、得られた結果を記録しようとしている。【a】 ・力学的エネルギーの保存について理解することができる。【a】 ・力学的エネルギーの保存の法則を用い、様々な運動を分析できる。【b】	小テスト確認 ノート確認 実験レポート 行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート
12	5	第2編 熱 第1章 熱と熱量 1. 熱と物質の状態 2. 熱と仕事 3. 不可逆変化と熱機関 章末問題 探究活動	○熱の本質を知り、エネルギーとの関係を学ぶ。 ・熱運動と温度を定性的に理解することができる。【c】 ・熱運動というミクロな立場から物質の状態変化、温度、潜熱について理解することができる。【a】 ・仕事と熱の変換、内部エネルギー、熱力学第1法則を通じ、熱現象とエネルギーの関係について理解することができる。【a】	実験レポート
1 2	8	第3編 波 第1章 波の性質 1. 波と媒質の運動	○波とは何か、波はどのように伝わるかなどを調べ、波の性質を学ぶ。 ・波と媒質の運動について理解することができる。【a】	行動観察 小テスト確認 ノート確認
2	6	2. 波の伝わり方 第2章 音 1. 音の性質 2. 発音体の振動と共振共鳴 章末問題 探究活動	・波の伝わり方を理解することができる。【c】 ・波の波長、振動数、波の伝わる速さについて理解することができる。【a】 ・波の重ね合わせや独立性、定常波について理解することができる。【a】 ・音波の性質として、波の現象を理解することができる。【b】	行動観察 ノート確認 実験レポート
2 3	4	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 第2章 交流と電磁波 章末問題	○静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、発電機や電磁波について学ぶ。 ・静電気や電流について、電子の移動と関連付けて理解することができる。【c】 ・電荷や電流について定量的に取り扱うことができる。【a】 ・電流のエネルギーについて、電力と電力量を理解することができる。【b】 ・電流による磁界について理解する。【a】 ・電流が磁界から受ける力について学び、モーターの原理を理解できる。【a】 ・交流の発生、送電及び利用について、基本的な仕組みを理解できる。【a】 ・電磁波について学び、現代生活に利用されていることを知る。【c】	行動観察
3	2	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーとその利用 第2章 物理学が拓く世界 章末問題 学年末考査	○人類が利用することができる各種エネルギーの特性や利用法について学ぶ。 ・人類が利用可能なエネルギーの特性、利用やそれに伴うリスクなどについて、物理学的な視点から理解することができる。【a】 ・1年間の学習により何が学べたかについてまとめる。【c】	行動観察 ノート確認

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	生物基礎	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	生物基礎(数研出版)			補助教材等	リードα 生物基礎(数研出版) スクエア 最新図説生物(第一学習社)		
指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。						
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点			評価方法	
4 5 6	18	第1章 細胞の特徴 ・生物の多様性と共通性 ・エネルギーと代謝 前期中間考査 ・呼吸と光合成	<ul style="list-style-type: none"> ・生物は多様性と共通性をもっていることを理解することができる。【a】 ・光学顕微鏡による観察を行いながら、それを正しく操作することができる。【b】 ・生命活動に必要なエネルギーとその代謝に必要な酵素について理解することができる。【c】 ・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。 ・エネルギー代謝の一つである光合成と呼吸について理解することができる。【a】 			行動観察・小テスト確認 実験レポート ノート確認	
7 8 9	17	第2章 遺伝子とそのはたらき ・遺伝情報とDNA ・遺伝情報の複製と分配 ・遺伝情報の発現 前期期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの特徴について理解することができる。【a】 ・DNAが複製され分配されることにより、遺伝情報が伝えられることを理解することができる。【c】 ・DNAの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解することができる。【c】 ・前期の学習状況を自己評価する。 			行動観察・小テスト確認 ノート確認	
10 11 12	20	第3章 生物の体内環境 ・体内での情報伝達と調節 ・体内環境維持のしくみ ・免疫のはたらき 後期中間考査	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体内環境の維持について観察、実験などを通して探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解することができる。【b】 ・体内環境維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解することができる。【a】 ・免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解することができる。【c】 ・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。 			行動観察・小テスト確認 実験レポート ノート確認	
1 2 3	15	第4章 植生の多様性と分布 ・植生と遷移 ・植生の分布とバイオーム ・生態系と生物の多様性 ・生態系のバランスと保全 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解することができる。【a】 ・気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解することができる。【b】 ・生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解することができる。【a】 ・生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識することができる。【c】 ・1年間の学習により何が学べたかについてまとめる。 ・1年間の学習状況を自己評価する。 			行動観察・小テスト確認 実習レポート ノート確認	

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	保健体育	科目名	体育	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)			補助教材等	ステップアップ [®] 高校スポーツ2024(大修館書店)		
指導目標	各種運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯にわたって運動できる資質や能力を育てる。						
月	時間数	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点				評価方法
4 5	1	体育理論 ・スポーツの始まりと変遷	・人間にとって体を動かすことの意味、スポーツの起源、ルールや技術がどのように変遷してきたのか理解できる。 【a・b・c】				保健体育ノート 行動観察
	10	体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 (ボールを使う運動を含む)	・手軽な運動を行い、仲間と主体的にかかわることができる。 ・自身の体の状態を知り、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図ることができる。 ・球技大会に向けて、バレーボールを使った体力向上ができる。ルールや禁止事項、使用道具及びコートについて理解している。 【a・b・c】				行動観察 体育ノート
5	1	体育理論 ・文化としてのスポーツ	・運動との比較から文化としてのスポーツの特徴と、多様ななかかわり方によるスポーツ文化の変容について説明できる。 【a・b・c】				保健体育ノート 行動観察
6 7 8	16	球技 ・バスケットボール ・サッカー *一種目選択	・安定した用具操作の習得や状況に応じたボール操作の習得 (例) ドリブルやボールキープの技術 状況に応じたパスやシュートの技術 ・ルールやチーム戦術を理解し、仲間と協力してゲームやリーグ戦の運営ができる。 【a・b・c】				行動観察 体育ノート スキル評価
	2	体育理論 ・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果	・オリンピックやパラリンピックの価値について具体例をあげながら、その意義について説明できる。 ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを説明できる。 【a・b・c】				保健体育ノート 行動観察
9 10 11	18	球技 ・バドミントン ・ソフトボール *一種目選択	・安定した用具操作の習得や状況に応じたボール操作の習得 (例) 打つ方向に高く大きくフォロースルーをとれる。 狙った場所に変化をつけたサービスができる。 試合時に適切に技能を発揮できる。 ・ルールやチーム戦術を理解し、仲間と協力してゲームやリーグ戦の運営ができる。 【a・b・c】				行動観察 体育ノート スキル評価
11	1	体育理論 ・スポーツの高潔さとドーピング	・ドーピングがなぜスポーツを破壊する行為になるのかを具体的に説明できる。 【a・b・c】				保健体育ノート 行動観察
12 1	10	陸上競技 長距離走	・自己に適したペースを維持した走法で走ることができる。 (例) リズミカルに腕を振り、力みのない軽快なフォーム 【a・b・c】				【長距離走】 行動観察 体育ノート 長距離カード
1 2	10	球技 ・卓球 ・テニス *一種目選択	・安定した用具操作の習得や状況に応じたボール操作の習得 (例) 狙った所に、サーブを打つことができる サーブやストロークの技術 ・ルールやチーム戦術を理解し、仲間と協力してゲームやリーグ戦の運営ができる。 【a・b・c】				行動観察 体育ノート スキル評価
2	1	体育理論 ・スポーツと環境	・スポーツにおける環境問題について説明できる。 【a・b・c】				保健体育ノート 行動観察

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	保健体育	科目名	保健	学年	1年	単位数(合計)	1(35)
使用教科書		現代高等保健体育(大修館書店)		補助教材等		現代高等保健体育ノート(大修館書店)	
指導目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯にわたって自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。					
月	時間	主な学習内容(項目)		主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点			評価方法
4	1	保健の授業について		・保健学習の意味と学習の見通しをもつことができる。【a】			行動観察 保健ノート
	2	現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた		・健康についての多様な考え方を理解し、健康の成り立ちとその要因を理解できる。 ・我が国における健康問題の変化を理解できる。 【a・b・c】			
5	3	3 生活習慣病の予防と回復		・生活習慣病とその種類、要因を理解し、一次予防、二次予防について説明できる。			
		4 がんの原因と予防		・がんの種類や原因、予防法を理解できる。			
		5 がんの治療と回復		・がんの治療法や緩和ケアについて理解できる。 【a・b・c】			
6	3	6 運動と健康		・健康からみた運動の意義を理解し、健康に良い運動のしかたについて例をあげて説明できる。			
		7 食事と健康		・食事と健康の関係について理解できる。			
		8 休養・睡眠と健康		・健康からみた休養や睡眠の意義を理解できる。 【a・b・c】			
7	3	9 喫煙と健康		・喫煙、飲酒、薬物乱用の有害性や、どのような問題が起こりうるかを理解し、適切な行動選択と意志決定ができるようにする。			
		10 飲酒と健康		・喫煙、飲酒、薬物乱用への対策を理解し、個人と社会に分けて例を挙げて説明できる。【a・b・c】			
		11 薬物乱用と健康					
8	3	12 精神疾患の特徴		・精神疾患の要因と種類、今日課題を理解できる。			
		13 精神疾患の予防		・精神疾患を予防する方法を理解し、治療や回復のために必要なことを説明できる。			
9	3	14 精神疾患からの回復		・ストレスや不安に対処する方法を理解し、話し合うことができる。【a・b・c】			
		15 現代の感染症		・感染の潜伏期間や感染力などを理解し、予防対策を例にあげて説明できる。			
	1	3	16 感染症の予防		・性感染症・エイズについて理解し、その予防と対策を個人と社会に分けて例をあげることができる。 【a・b・c】		
17 性感染症・エイズとその予防							
10	3	18 健康に関する意思決定・行動選択		○前期の学習状況についての評価【a・b・c】			総合評価
		19 健康に関する環境づくり		・意思決定・行動要因に影響を与える要因について説明できる。 ・社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。【a・b・c】			行動観察 保健ノート
11	4	安全な社会生活		・事故とその被害の実態を理解し、事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。			行動観察 保健ノート
		1 交通事故の現状と要因		・自他の安全を確保する行動を理解できる。【a・b・c】			
12	4	2 安全な社会の形成					
		3 交通における安全		・交通事故における責任を3つに分けて理解できる。			
1	4	4 応急手当の意義とその基本		・応急手当の意義と、応急手当の手順を理解できる。 【a・b・c】			行動観察 保健ノート
		5 日常的な応急手当		・日常的なケガや熱中症の応急手当が理解できる。			
2	4	6 心肺蘇生法		・心肺蘇生法の方法と順を理解し、実際に行うことができる。 【a・b・c】			保健ノート
		1 学年末考査		○後期の学習状況についての評価【a・b・c】			総合評価

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	芸術	科目名	音楽 I	学年	1年	単位数 (合計)	2 (70)
使用教科書	MOUSA 1 (教育芸術社)			補助教材等	音楽ノート・ファイル		
指導目標	音楽的な見方・考え方に基づいた主体的な音楽活動を通して、音楽のよさ、美しさを深く味わい、音楽文化と幅広く関わる資質や能力を育成する。						
月	時間	主な学習内容 (項目)	主な学習活動 (指導内容) と到達目標・評価の観点				評価方法
4	8	曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技術を身につける。【a】 ・歌ったり聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。【b】 ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方など試行錯誤しながら表現を工夫する。【c】 				行動観察 プリント確認
5	8	ボディーパーカッションや CUPS に挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムを正確に捉えるとともに、その重なり合いやつながりを意識して演奏する。【a】 ・曲想にあった音色や奏法などの技術を身に付け表現を工夫する。【b】 ・イメージをもって音楽を形づくっている要素の働かせ方など試行錯誤しながら表現を工夫する。【c】 				グループ発表 行動観察 プリント確認
6							
7	10	日本や諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技術を身につける。【a】 ・歌ったり聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。【b】 ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方など試行錯誤しながら表現を工夫する。【b・c】 				行動観察 プリント確認 実技テスト
8	8	コード進行を元にメロディーを作ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・コードの構成音をもとに音の組み合わせやつなげ方を試しながら、グループで表したいイメージに合うメロディーを作る。【a・b・c】 ・反復、変化などの手法を用いてメロディーを作り、作ったメロディーにもう一つのメロディーを重ねる技法を身に付ける。【a・b・c】 				グループ発表 行動観察 プリント確認
9		前期期末考査					
10	8	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技法を身に付ける。【a・b】 ・三線を演奏したり鑑賞したりしながら沖縄音楽の特徴や歴史的背景を理解する。【b・c】 				行動観察 プリント確認 実技テスト
11							
12	12	さまざまな舞台芸術を鑑賞し、ミュージカルナンバーやアリアに挑戦しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を鑑賞したり作曲家について調べたり意見を交換しながら曲想や表現上の効果と音楽の関わり、音楽の特徴と文化的、歴史的背景との関わりを理解する。【a・b】 ・歌ったり聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。【b・c】 				行動観察 プリント確認
1	8	表現を工夫してギターを演奏しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などに留意して演奏し、表現に必要な技法を身に付ける。【a】 ・演奏したり聴きあったりしながら曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する。【b】 ・イメージをもって音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現する。【b・c】 				行動観察 プリント確認 実技テスト
2							
3	8	合唱を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などに留意して歌い、表現に必要な技術を身につける。【a】 ・歌ったり聴きあったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。【b】 ・イメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方など試行錯誤しながら表現を工夫する。【b・c】 				行動観察 プリント確認
		学年末考査					

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	芸術	科目名	美術 I	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	高校生の美術1(日本文教出版)			補助教材等	スケッチブック・キャンバス等		
指導目標	美術の幅広い創造活動を通して美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。生涯にわたり美術文化に親しむ心情を育む。						
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法			
4	6	オリエンテーション (美術の目標) 絵画 ＜鉛筆素描＞	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な視点について理解を深め、創意工夫し取り組むことを理解する。【a】 素描の基礎を理解し、意図に応じて表現方法を工夫することができる。【a・b】 主体的に創造活動に取り組むことができ【c】 	行動観察 プリント確認 スケッチブック 課題作品提出			
5	6	(表現技法) (用具の取り扱い)	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具の特性を知り、発想や構想したことを具体化する知識と技能を身に着ける。【a】 目的を基に適切に判断し表現方法を創意工夫し、創造的に完成度の向上を目指すことができる。【b・c】 	行動観察 スケッチブック 課題作品提出			
6	6	(色彩理論) (遠近法)	<ul style="list-style-type: none"> 色彩理論を理解し、効果的に作品制作に生かすことができる。遠近法(線遠近法、空気遠近法)を理解し、効果的に作品制作に生かすことができる。【a・c】 	行動観察 スケッチブック 課題作品提出			
7	8	デザイン ＜ポスター制作＞ (発想や構想)	<ul style="list-style-type: none"> デザインの機能や効果などについて知り、創造的な表現の構想を練ることができる。【a】 目的や機能などを考え主題を生成し、条件などを考え、自ら発想や構想ができる。【b・c】 	行動観察 スケッチブック 課題作品提出			
8 ・ 9	8	鑑賞 ＜西洋美術史＞ 前期期末考査	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方、感じ方を深めることができる。【a・c】 	行動観察 プリント確認			
10	8	鑑賞＜視覚効果＞ 映像メディア表現 彫刻 ＜塑像＞ (立体表現)	<ul style="list-style-type: none"> 色光や視点、動きなどの映像表現の視覚的な要素の働きについて知る。【a】 立体的表現形式の特性を生かし、形体や色彩などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。【b・c】 	発言・考察 行動観察 プリント確認 スケッチブック 課題作品提出			
11	7	(発想や構想) (用具の取り扱い)	<ul style="list-style-type: none"> 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、用具の工夫や完成度の向上を目指すことができる。【b・c】 	行動観察 課題作品提出			
12	5	絵画 ＜人物画＞ (発想や構想) (絵画表現)	<ul style="list-style-type: none"> 自然や生活などから感じ取ったこと、夢や創造などから主題を生成できる。【a・b】 主題を基にした発想し具体化ができる。【b】 発想や構想をしたことを基に表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。【c】 	行動観察 スケッチブック 課題作品提出			
1	6	(用具の取り扱い) 鑑賞 ＜日本美術史＞	<ul style="list-style-type: none"> 意図に応じて材料や用具の特性を生かし工夫することができる。【b・c】 日本における美術文化の流れや作品の背景を知ること、日本の独自の美意識を感じ取ることができる。【a・b】 	課題作品提出 行動観察 発言・考察			
2	8	＜日本美術史＞	<ul style="list-style-type: none"> 造形的なよさや美しさを感じ取り、作品への理解を深め、鑑賞に生かすことができる。【a・b】 生涯にわたり美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことができる。【c】 	行動観察 プリント確認			
3	2	年間のまとめ 学年末考査					

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	芸術	科目名	書道 I	学年	1年	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	書 I (光村図書出版)		補助教材等		色紙・短冊等		
指導目標	・書を愛考し、書写能力を高め、意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その楽しさや喜びを味わう。 ・書文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく情操を培う。						
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点				評価方法
4 5	1	書へのいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・書写で学習したことを基盤として、高等学校芸術書道の特徴と目標を具体的に理解する。【a】 ・臨書の意義と目的を理解する。【a】 ・用具や用材のその扱い方に理解と関心を持ち、用具用材と表現が密接に関係していることを理解する。【a】 				行動観察
6 7	25	漢字の書の学習 (楷書) 「唐代・北魏の楷書」	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に基づく基本的な字形・線質の書法を理解し表現する。【a・b】 ・表現と鑑賞の関連を図り、古典への興味関心を高めるとともに、個性豊かな表現と能力を伸ばす。【a・b】 ・楷書の特徴や変遷を理解する。【a】 ・各古典における書風を理解し意欲的に表現する。【b・c】 				行動観察 作品提出
8 9 10	16	(行・草書) 「蘭亭序」「風信帖」 前期期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・行・草書の特徴や変遷を理解する。【a】 ・各古典における書風を理解し意欲的に表現する。【b・c】 				行動観察 作品提出
11	2	(隸書) 「曹全碑」	<ul style="list-style-type: none"> ・隸書の特徴や変遷を理解する。【a】 ・古典における書風を理解し意欲的に表現する。【b・c】 				行動観察 作品提出
	2	(篆書) 「泰山刻石」	<ul style="list-style-type: none"> ・篆書の特徴や変遷を理解する。【a】 ・古典における書風を理解し意欲的に表現する。【b・c】 				行動観察 作品提出
12	12	仮名の書の学習 「いろはうた」 「高野切」 「三色紙」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で成立した仮名の種類と成立過程、各時代の文化との関連について理解する。【a・b】 ・仮名の書に適した用具・用材について理解する。【a】 ・仮名の基本的な線質・用筆・運筆との関連を理解する。【a・b】 ・仮名の書の特徴や変遷を理解する。【a】 ・各古筆における書風を理解し意欲的に表現する。【b・c】 				行動観察 作品提出
	1	書きぞめ	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的行事である書きぞめを通し、書文化を感受する。【a・b・c】 				行動観察
1	1	篆刻の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・書と篆刻は密接に関係していることを理解する。【a】 ・使用する用具・用材に関心を持ち、表現効果が大きく関連していることを理解する。【a・b】 				作品提出
	2	漢字仮名交じりの書の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に身近な表現方法であることを理解し、漢字と仮名の選択、書体、書風などを関連させ自らの構想に基づいて意欲的に主体的に表現する。【a・b】 				行動観察 作品提出
3	6	創作 色紙	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術的な表現(撰文(漢字・仮名・漢字仮名交じり文)・書体・構成・布字・墨色)について作品制作手順を理解し、自らの表現活動を楽しみ書作する。【b・c】 ・字書を引くことにより、五書体(漢字)・仮名や古典に対する認識を深める。【a】 				行動観察 作品提出
	2	作品ファイルと鑑賞、まとめ 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・作品ファイルを鑑賞し、書道 I で学書した書の奥深さを認識する。また、作品保管の大切さを知る。【a・b・c】 				作品提出 鑑賞レポート

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	外国語 (英語)	科目名	英語 コミュニケーションI	学年	1年	単位数(合計)	4(140)
使用教科書		BLUE MARBLE English Communication I (数研出版)		補助教材等		Focus on Listening(エミル出版) 英単語 ターゲット 1900(旺文社) NEO 現代を見る Approach (いいずな書店)	
指導目標		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。					
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点				評価方法
4	9	Lesson 1 ・音節とアクセント ・フレーズリーディング ・英語の語順I(文型①)	・友達付き合いについて、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。【a】 ・各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。【b】 ・自分の意見を話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング
	9	Lesson 2 ・パラグラフの構成 ・動詞の形I(時制)	・過去の万博に関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・写真を見て、内容の描写や状況の推測について表現している。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ エッセイ
5	9	Lesson 3 ・時間的順序・列挙 ・動詞の形II(助動詞、態)	・講談に関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・リ スニング
6	1	前期中間考査	・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。				
	10	Lesson 4 動詞の形III(準動詞①)	・身のまわりにある仕掛けに関して、内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認
7	10	Lesson 5 英語の語順II(文型② 準動詞②)	・ルワンダに関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察 小テスト ・スピーチ
8	10	Lesson 6 英語の語順III(関係代名詞)	・日常で用いられる単位に関して、内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察 小テスト ・ノート確認・ リスニング
9	1	実力考査	・既習の事項が応用できるか振り返り、自己評価する。				
	10	Lesson 7 英語の語順IV(関係副詞)	・バイオリギング研究に関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察 小テスト ・ノート確認・ スピーチ
10	1	前期期末考査	・前期の学習状況について自己評価する。				
10	10	Lesson 8 ・音の連結(リエゾン) ・事実と意見の区別 ・動詞の形IV(仮定法)	・オーバーツーリズムに関して、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。【a】 ・各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。【b】 ・自分の意見を話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認 スピーチ・リスニ ング
	10	Lesson 9 ・関係副詞 ・比較	・正しい情報の見極め方に関する英文を読み/聞き、その内容を理解する技能を身に付けている。【a】 ・写真を見て、内容の描写や状況の推測について表現している。【b】 ・写真を見て、内容の描写や状況の推測について表現しようとしている。【c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認 スピーチ・リスニ ング
11	10	Lesson 10 ・関係代名詞の非制限用法 ・強調構文	・禅のイメージに関して、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。【a】 ・各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。【b】 ・自分の意見を話したり/書いたりしようとしている。【c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認 リスニング・エッ セイ
12	1	後期中間考査	・後期中間考査までの授業と自分の学習状況について自己評価する。				
12	12	NEO 現代を見る 歴史・文化	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【a】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・説明や物語を聞き手に正しく内容が伝わるように音読している。【b・c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認・リス ニング・エッセイ
	1	実力考査	・既習の事項が応用できるか振り返り、自己評価する【a・b・c】				
1	11	NEO 現代を見る 言語・社会	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【b】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・自分で作成した文章を人前で発表できる。【a・b・c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認・スピー ーチ・リスニング
2	11	NEO 現代を見る 健康・科学	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【b】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・説明や物語を聞き手に正しく内容が伝わるように音読している。【b・c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認・リス ニング・エッセイ
3	3	NEO 現代を見る 自然	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【b】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・自分で作成した文章を人前で発表できる。【a・b・c】				行動観察小テスト確認 ・ノート確認・スピー ーチ・リスニング
	1	学年末考査	・1年間の学習状況について自己評価する。				

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	外国語(英語)	科目名	論理・表現 I	学年	1 年	単位数(合計)	2 (70)
使用教科書	Genius English Logic and Expression I (大修館書店)			補助教材等	Vision Quest New English Grammar 47 (啓林館) Vision Quest 総合英語 Ultimate(啓林館)		
指導目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。						
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点				評価方法
4	2	Unit 1 (自己紹介)	・自己紹介ができる。【a・b・c】 ・文の種類を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	3	Unit 2 (家族・友人の紹介)	・家族や友人の紹介文を書くことができる。【a・b・c】 ・文の種類を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
5	1	Unit 3 (学校生活)	・海外の生徒に向けて自分たちの学校生活を紹介する原稿を書くことができる。【a・b・c】 ・時制を理解し、適切な英文を書くことができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
	2	Unit 4 (週末の計画)	・ハイキングの計画について意見交換ができる。【a・b・c】 ・未来時制を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	2	Unit 5 (体験談)	・体験談を発表し、質疑応答ができる。【a・b・c】 ・完了形を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
6	1	前期中間考査	○2ヶ月間の学習状況を自己評価する。【a・b・c】				
	3	Project 1 (自己紹介動画)	・既習事項を使い、自己紹介ができる。【a・b・c】 ・活動を振り返り、適切な自己評価ができる。【c】				パフォーマンステスト
	4	Unit 6 (校則)	・学校のルールブックを書くことができる。【a・b・c】 ・助動詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
7	4	Unit 7 (反省)	・過去を振り返り、アドバイスをすることができる。【a・b・c】 ・助動詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
8	1	実力考査	○既習事項の応用ができるかを振り返り、自己評価する。				
	3	Unit 8 (観光案内)	・外国人観光客のための観光案内を書くことができる。【a・b・c】 ・受動態を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
9	2	Unit 9 (健康問題)	・健康問題とその解消策についてスピーチができる。【a・b・c】 ・不定詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	3	Unit 10 (進路選択)	・進路選択についてディスカッションができる。【a・b・c】 ・不定詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	1	前期期末考査	○前期の学習状況について自己評価する。【a・b・c】				
10	2	Project 2 (学校紹介)	・既習事項を使い、学校紹介の記事を書くことができる。【a・b・c】 ・活動を振り返り、適切な自己評価ができる。【c】				パフォーマンステスト
	3	Unit 11 (日本の学校)	・校内清掃の是非についてディベートができる。【a・b・c】 ・動名詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	3	Unit 12 (学校行事)	・学校行事について報告するメールを書くことができる。【a・b・c】 ・動名詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
11	3	Unit 13 (交通手段)	・最適な交通手段についてディスカッションができる。【a・b・c】 ・比較表現を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	4	Unit 14 (尊敬する人)	・尊敬する人について書くことができる。【a・b・c】 ・関係代名詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
	1	後期中間考査	○後期中間考査までの学習状況について自己評価する。【a・b・c】				授業評価表
12	2	Unit 15 (課外活動)	・ボランティア活動についてプレゼンテーションができる。【a・b・c】 ・関係副詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	1	Unit 16 (限りある資源)	・資源問題についてディスカッションをすることができる。【a・b・c】 ・仮定法を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
	2	Project 3 (行事企画)	・既習事項を使い、行事企画のプレゼンテーションができる。【a・b・c】 ・活動を振り返り、適切な自己評価ができる。【c】				パフォーマンステスト
1	2	実力考査	○既習事項の応用ができるかを振り返り、自己評価する。				
	4	Unit 17 (出会い)	・人との出会いについてプレゼンテーションができる。【a・b・c】 ・仮定法を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
2	3	Unit 18 (環境問題)	・環境問題について意見を書くことができる。【a・b・c】 ・接続詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
	3	Unit 19 (科学技術)	・科学技術の是非についてディベートができる。【a・b・c】 ・接続詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認
3	4	Unit 20 (日本文化)	・日本文化を紹介する記事を書くことができる。【a・b・c】 ・接続詞を理解し、適切に使用することができる。(Ultimate) 【a・b】				行動観察 小テスト確認 ライティング
	1	学年末考査	○1年間の学習状況について自己評価する。【a・b・c】				

令和6年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	学年	1年	単位数 (合計)	2 (70)
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)			補助教材	2024 生活ハンドブック (第一学習社)		
指導目標	人の一生と家族・家庭及び、福祉・衣食住・消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を 図り、技能を習得させる。家庭や地域及び社会の生活課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。様々な人々と協 働し、よりよい社会の構築に向けて生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。						
月	時間	主な学習内容 (項目)	主な学習活動 (指導内容) と到達目標・評価の観点			評価方法	
4	2	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと 学校家庭クラブ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのか理解している。【a】 ・ホームプロジェクトや家庭クラブの意味と進め方について理解している。【a】 ・課題の解決に向けて主体的に取り組み、実践しようとしている。【b・c】 			行動観察 ワークシート	
	2	生涯を見通す	<ul style="list-style-type: none"> ・人の一生について、自己と他者、社会と関わりながら様々な生き方があることを理解し ている。【a】 ・生活設計について課題の解決に主体的に取り組み、解決する力を身に付けている。【b】 ・生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んでいる。【c】 			行動観察 ワークシート	
5	6	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服のさまざまな役割を理解している。【a】 ・被服材料の特徴を理解し、安全で健康的な衣服管理について考えている。【b】 ・汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。【a】 			行動観察 ワークシート 課題作品	
6	8	食生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の栄養的性質・食品の調理上の性質について理解している。【a】 ・食の安全について課題を解決する力を身に付けている。【b】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて食生活と健康について、課題の解決 に主体的に取り組んでいる。【c】 ・基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようになる。【a・c】 			行動観察 ワークシート 調理実習	
7	6	人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・各ライフステージの特徴と課題を理解している。【a】 ・生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、職業選択も見通す。【b】 ・家族・家庭に関する基礎的な法律を学習する。【a】 			行動観察 ワークシート	
8	2	ホームプロジェクトの発 表	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクト (夏休み課題) 【a・b・c】 ・夏休みの課題の発表。【b】 			ホームプロジェ クト	
9	7	共に生き、共に支える	<ul style="list-style-type: none"> ・一生を通じた福祉や社会的支援の必要性について理解している。【a】 ・社会保障制度の理念を理解し、社会の課題について考える。【b】 			行動観察 ワークシート	
10	8	超高齢社会を共に生きる 前期期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を取り巻く社会環境を理解している。【a】 ・高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解している。【a】 ・高齢者の自立した生活を支えるために家庭や地域及び社会の役割の重要性について理 解し高齢者を支える制度と課題を考える。【b・c】 			行動観察 ワークシート 車椅子実習	
11	8	子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの育つ力と発達段階を理解している。【a】 ・親・家族・周囲の人々の関わり的重要性について理解している。【a】 ・遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について主体的に取り組んでいる。【c】 			行動観察 ワークシート	
12	6	経済生活を営む 持続可能な生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の基盤となる家計管理の重要性を理解している。【a】 ・責任ある消費における課題を理解し、課題解決に向けて考える。【b】 ・生活と環境と理解している。【a】 ・持続可能な消費について課題と解決方法について考えている。【b】 			行動観察 ワークシート	
1	7	住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能や間取りの基礎知識を理解している。【a】 ・ライフステージに合った住居を考える。【b】 ・住環境と地域社会とのつながりについて考える。【b】 			行動観察 ワークシート	
2 3	8	生活を設計する まとめ 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。【b】 ・自分の目指すライフスタイルを考え、生活設計を立てる。【a・b】 			行動観察 ワークシート	